

四国・水こぼれ話

Water Information Saloon Shikoku

談話室 Vol. 5

「水とこころ」

四国地方整備局 河川部長

きくち りょうすけ
菊池 良介



こんにちは。四国地方整備局の河川部長の菊池です。

昨年のこの時期は、相次ぐ台風で毎週毎週、洪水対応に追われておりましたが、今年は打って変わって、早明浦ダムの利水容量が枯渇してしまうという早明浦ダム完成後最大の渇水に見舞われてしまいました。何とか電源開発(株)のご協力により、発電専用容量から水道用水へ緊急放流し当面の断水回避は出来ましたが、まだまだ渇水は続きそうで暫くは夏期休暇は取れそうにありません。改めて四国の治水・利水安全度の低さと治水対策、水資源開発の重要性を痛感したところです。

四国の人情を知るには先ず「お遍路さん」ではないかと思ひ、私は昨年7月から一番札所、鳴門の霊山寺から順番に回り始めこれまでに77ヶ所を終わりました。「嘘をついてはいけない。おべっかついてはいけない。怒ってはいけない。など」お遍

路心得というべき十善、早く回ればよいのではなく「人に微笑みかけなさい(和顔施)。人に優しい言葉をかけなさい(言施)。人の幸せを心から願いなさい(心施)。など」お金ではない施し(功德)を沢山行いなさいという無財七施、お遍路さんに対する地元の人のおもてなしの心(実際に私も何回もおもてなしを受けました。)の話の聞くと、これが「四国のこころ」の基盤の一つになっているのではないかと感じています。

お寺に入ると先ず手水鉢で左手、右手の順に洗い、左手に水を受けて口を漱ぎ体を清めるのが作法であることを教えて貰いました。無心にその作法を続けていた時、あるお寺で手水鉢に「こころを洗う」との名盤を見つけ、心打たれました。これからも「こころ」と「水」を大切にしたいと思う今日この頃です。



早明浦ダムの渇水



郷照寺 手水鉢